

他の疾患と症状が類似しているので、 鑑別診断の対象にLAL-Dを含める必要があります。¹

鑑別診断で着目すべき臨床的特徴 (海外データ)

	LAL-D ¹⁻³	ウィルソン病 ⁴	NAFLD/ NASH ⁵	メタボリック シンドローム ^{6,7}	FCH ¹	HeFH ^{1,8}
LDL-c	↑				↑	↑
HDL-c	↓			↓	↓	
ALT	↑	↑	↑			
その他 ^a	肝脂肪沈着 (主に小滴性、 大滴性の脂肪 沈着が混在す る場合もある)	血清セルプラスミン値 尿中銅排出量 中枢神経障害	肝脂肪沈着	↑ 腹囲 ↑ 空腹時血糖 ↑ TG ↑ 血圧	家族歴	黄色腫(皮膚、腱) 家族歴

NAFLD: 非アルコール性脂肪性肝疾患
NASH: 非アルコール性脂肪性肝炎
FCH: 家族性複合型高脂血症
HeFH: 家族性高コレステロール血症ヘテロ接合体
LDL-c: LDLコレステロール
HDL-c: HDLコレステロール
ALT: アラニンアミノトランスフェラーゼ
TG: トリグリセリド

a ここに示した臨床症状は主なものであり、起こり得る全ての臨床症状を含んでいるわけではありません。

LAL-Dの正確な診断による鑑別診断が重要です。^{1,2}

この頁に記載されている内容は医療従事者への参考情報であり、医師の臨床診断に取って代わるものではありません。
実際の診断は医師によってなされる必要があります。

References: 1. Reiner Ž, et al. Atherosclerosis. 2014;235:21-30. doi:10.1016/j.atherosclerosis.2014.04.003.
2. Bernstein DL, et al. J Hepatol. 2013;58:1230-43. doi:10.1016/j.jhep.2013.02.014. 3. Grabowski G. The Online Metabolic and Molecular Bases of Inherited Disease. New York, NY: McGraw Hill; 2012. 4. Roberts EA, et al. Hepatology. 2008;47:2089-111. doi:10.1002/hep.22261. 5. Preiss D, et al. Clin Sci. 2008;115:141-50. doi:10.1042/CS20070402. 6. Kaur J. Cardiol Res Pract. 2014;943162. doi:10.1155/2014/943162. 7. Grundy SM, et al. Circulation. 2005;112:2735-52. doi:10.1161/CIRCULATIONAHA.105.169404. 8. Varghese MJ. Ann Pediatr Cardiol. 2014;7:107-17. doi:10.4103/0974-2069.132478.

